

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

大台町教育委員会
平成26年11月

本年4月に小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月25日に文部科学省から公表されました。

調査結果や本町における児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果、今後の取組を以下のとおりまとめました。

なお、調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。

1 教科に関する調査の結果・分析

※結果の分析は、平均正答率が80%以上のものを「強み」と捉え、50%以下のものを「弱み」として捉え記述しました。

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語A>

○強み

- ・問題1一(1): 漢字を読む(道路の標識を見る)。
- ・問題1一(2): 漢字を読む(街灯がつく)。
→「標識」「街灯」を読む問題で、基礎的な漢字を読むことができます。
- ・問題1二(1): 漢字を書く(料理をのせたさらを運ぶ)。
→「さら」という基礎的な漢字が書けています。
- ・問題6二: 文のつながりを捉え、適切なものを選択する。
→文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択することができます。

○弱み

- ・問題2一: 故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)。
- ・問題2二: 故事成語の使い方として適切なものを選択する(百聞は一見にしかず)
→ともに故事成語「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」の意味と使い方を理解しているかどうかを問う問題です。故事成語の使い方についての理解に課題があります。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域及び評価の観点から見て、「書くこと」に関しては全国と比較して力がついています。
- ② 学習指導要領の領域及び評価の観点から見て、「読むこと」については課題があります。「読む能力」については、今後伸ばして行かなければなりません。

<小学校国語B>

○弱み

- ・問題1三：大野さんの②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く。
→立場を明確にして、質問や意見を書くことに課題があります。
- ・問題2二：付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く。
→分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連づけながらまとめを書くことに課題があります。
- ・問題3二：【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する。
→詩の解釈として適切なものを選択することに課題があります。
- ・問題3三：【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く。
→二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く問題で、自分の考えが書けていません。

■全体の傾向から見られる課題

- ① B問題全体を見て、全国平均で満足いく80%以上を記録しているのは1問だけであり、問題としてこれでいいのかという感じがします。弱みの4点については、全国でもやはり弱みとなっています。
- ② 全体的にB問題については全国平均をやや下回っています。応用力をつけることに課題があります。

<小学校算数A>

○強み

- ・問題1(1)： $46 + 57$ を計算する。
- ・問題1(2)： 903×6 を計算する。
- ・問題1(3)： $9 - 0.8$ を計算する。
- ・問題1(4)： $2 \div 5$ を計算する。
- ・問題1(6)： $1 \div 3 + 2 \div 5$ を計算する。
→整数、小数、分数の基礎的な計算ができています。
- ・問題5(1)：直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く。
→円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができています。
- ・問題5(2)： 1cm^3 の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。
→ 1cm^3 の立方体を基に、示された直方体の体積を求めることができています。

○弱み

- ・問題2(2)：示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。
→割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準値)×(割合)になることが理解できていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「図形」に関しては力がついています。「数と計算」「数量関係」については正答率が80%前後あり、「知識」等が概ね身につけていると言えます。
- ② 算数Aについては全国平均より高く、力がついていると言えます。

<小学校算数B>

○強み

- ・問題1(1): 示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。
→示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができています。
- ・問題2(1): 6・7月の水の使用量 1500m^3 は、プールに入る量 250m^3 の何倍かを求める式と答えを書く。
→示された場面から基準値と比較量を捉え、倍を求めることができています。

○弱み

- ・問題3(1): 昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く。
→示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題があります。
- ・問題3(3): 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。
→示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題があります。
- ・問題5(2): 使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選ぶ。
→示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することに課題があります。
- ・問題5(3): 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。
→示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題

- ① 評価の観点からみて、「数学的な考え方」に課題があります。今後数学的な考え方を伸ばすような問題を入れていく必要があります。
- ② 算数B問題については、授業の中で応用力をつけていく必要があります。

<中学校国語A>

○強み

- ・問題1一：フリップの効果の説明したものとして適切なものを選択する。
→目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことができます。
- ・問題1二：報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する。
→必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことができます。
- ・問題2一：主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する。
→心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることができます。
- ・問題2二：仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える。
→語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えることができます。
- ・問題3一：主人公が「素通りができなくなる」と思った理由として適切なものを選択する。
→登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することができます。
- ・問題3二：「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する。
→文脈の中における語句の意味が理解できています。
- ・問題4一：ウェブページの項目として適切なものを選択する。
→集めた材料を分類するなどして整理することができます。
- ・問題4二：主語を書き換えて行事の記録を書き直す。
→叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることができます。
- ・問題5二：「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する。
→文章全体と部分との関係を考え、内容を理解することができます。
- ・問題7一：文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する。
→多様な方法で材料を集めながら考えをまとめることができます。
- ・問題8二1：漢字を読む（アユの稚魚を放流する）。
- ・問題8二2：漢字を読む（このホールは音響効果がよい）。
- ・問題8二3：漢字を読む（新記録に挑む）。
→文脈に即して漢字を正しく読むことができます。
- ・問題8三イ：適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておこう）。
- ・問題8三ウ：適切な語句を選択する（地域の伝統的な文化を継承する）。
- ・問題8三エ：適切なものを選択する（笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という）。

- ・問題 8 三才：適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）。
- ・問題 8 三力：適切な語句を選択する（あの人は、単刀直入にものを言う）。
- ・問題 8 三キ：適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日にのびのびと羽を伸ばす）
→語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができます。
- ・問題 8 六：文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する。
→文字の大きさ、配列などに注意して書くことができます。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「話すこと・聞くこと」に関しては力がついています。また、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」でも全国平均を上回っています。
- ② 読み取る力がやや弱いので、今後読むことに力を入れていく必要があります。

<中学校国語B>

○弱み

- ・問題 1 三：ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く。
→文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があります。
- ・問題 2 一：本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する。
→複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題があります。
- ・問題 2 三：水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く。
→資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題があります。
- ・問題 3 三：落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿様の気持ちを想像して書く。
→落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に気持ちを想像して書くことに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 中学校の国語B問題も小学校と同じく全国平均が80%以上を上回っている問題はありません。したがって、強みとするところはありません。弱みの4点は、全国でもやはり弱みとなっています。
- ② 学習指導要領の領域の3領域「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」とも全国平均を上回り、全体的に力がついています。
- ③ 学習指導要領の4領域とも全国平均を上回っています。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題1(1): $3 \div 4 \div 5 \div 6$ を計算する。
→分数の除法の計算ができています。
- ・問題1(4): 35を基準にして38を正の数で表す。
→正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解することができています。
- ・問題2(2): $10xy \div 5x$ を計算する。
→単項式どうしの除法の計算ができています。
- ・問題2(4): 男子 m 人と女子 n 人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、 m と n を用いて表した式を選ぶ。
→数量を文字式で表すことができています。
- ・問題3(1): 一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ。
→等式の性質と移項の関係が理解できています。
- ・問題4(1): 線対称な図形を完成する。
→対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができています。
- ・問題5(1): 直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く。
→空間における直線と平面の平行について理解できています。
- ・問題5(2): 三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ。
→平面図形をその面と垂直な方向に平行に移動させたときの、空間図形の構成について理解できています。
- ・問題8: 証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する。
→証明のための構想や方針の必要性和意味を理解することができています。
- ・問題10(2): 反比例の性質を表した記述を選ぶ。
→反比例の意味を理解することができています。
- ・問題14(1): 画びょうを投げた実験結果から、上向きになる確率を選ぶ。
→確率の意味が理解されています。

○弱み

- ・問題2(1): 「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く。
→数量の大小関係を不等式に表すことに課題があります。
- ・問題4(3): 与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ。
→図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることに課題があります。

- ・問題 5 (4) : 円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。
→底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係についての理解に課題があります。
- ・問題 9 : 与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する。
→関数の意味の理解に課題があります。
- ・問題 13 (1) : 生徒 60 人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。
→度数分布表から相対度数を求めることに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「図形」「関数」「資料の活用」について全国平均よりも特に高く、力がついています。
- ② 評価の観点からみると、「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」ともに力がついています。
- ③ 数学 A に関して、学習指導要領の 4 領域とも全国平均を上回っています。

<中学校数学 B>

○強み

- ・問題 1 (1) : 案内図を基に、経路を示すはり紙を選ぶ。
→与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができます。
- ・問題 1 (2) : 外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ。
→日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができます。
- ・問題 3 (1) : 与えられた表やグラフから、人数が 24 人のときに 6.0 秒かかったことを表す点を求める。
→与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができます。
- ・問題 5 (1) : スティックゲームの遊び方を基に、1 本表、3 本裏のときの得点を求める。
→ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができます。
- ・問題 6 (2) : 兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ。
→グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができます。

○弱み

- ・問題 2 (3): 2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する。
→予測された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することに課題があります。
- ・問題 4 (1): 2つの線分の長さが等しいことを証明する。
→図形の性質を、構想を立てて証明することに課題があります。
- ・問題 4 (2): $\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める。
→付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることに課題があります。
- ・問題 5 (2): 1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する。
→不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することに課題があります。
- ・問題 6 (3): 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する。
→グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することに課題があります。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「数と式」「関数」「資料の活用」については力がついています。
- ② 評価の観点からみて、「数学的な見方や考え方」について力がついています。
- ③ 数学Bに関しては、学習指導要領の4領域とも全国平均を上回っています。

2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

(1) 大台町として重視したい項目

【児童・生徒質問紙】

◇項目①：授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 86.4%（三重県75.7%、全国82.0%） 全国比+ 4.4
- ・生徒 70.8%（三重県62.1%、全国71.5%） 全国比- 0.7

◇項目②：授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 78.4%（三重県67.1%、全国71.9%） 全国比+ 6.5
- ・生徒 56.9%（三重県51.4%、全国53.3%） 全国比+ 3.6

【学校質問紙】

◇項目③：授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県91.3%、全国96.9%） 全国比+ 3.1
- ・中学校 66.7%（三重県88.3%、全国94.0%） 全国比- 27.3

◇項目④：授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 75.0%（三重県76.3%、全国91.6%） 全国比- 16.6
- ・中学校 100.0%（三重県84.5%、全国89.2%） 全国比+ 10.8

◇項目⑤：平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。

（「よく行った」「行った」と回答した割合）

- ・小学校 50.0%（三重県92.9%、全国93.6%） 全国比- 43.6
- ・中学校 100.0%（三重県91.4%、全国90.4%） 全国比+ 9.6

◆児童は、授業はじめの目標提示や、授業最後の振り返り活動について、全国よりも行っていると捉えています。生徒もほぼ同じ傾向を示しています。学校は、小学校が4校、中学校が3校なので1校の違いで数値は大きくなります。小学校では、目標の提示は行っています。振り返り活動はあまり行っていないと回答した学校が1校あります。逆に中学校では、目標の提示はあまり行っていないと答えた学校が1校あります。振り返り活動については全校が行っています。今後、目標提示や振り返り活動の大切さを意識づけていく必要があります。

◆平成25年度の問題を活用していない学校が、小学校に2校あります。今後の学力向上の観点からも、活用を促していかなければなりません。

【児童・生徒質問紙】

◇項目⑥：今住んでいる地域の行事に参加していますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 82.9%（三重県73.2%、全国68.0%） 全国比+ 14.9
- ・生徒 67.7%（三重県50.4%、全国45.5%） 全国比+ 22.2

◆多くの児童・生徒が地域の行事に参加していると答えています。全国と比較しても児童・生徒とも高い数値を示しています。過疎地である大台町では、子どもたちが地域の良さ、地域の人々の温かさに触れ、地域に愛着を持つ活動が大切であり、またそのための活動を各学校で取り組んでいます。その結果の表れと考えられます。今後も地域に根ざした取り組みを推進していかなければなりません。

◇項目⑦：普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

（「3時間以上」と回答した割合）

- ・児童 47.7%（三重県38.4%、全国38.0%） 全国比+ 9.7
- ・生徒 38.5%（三重県35.2%、全国31.5%） 全国比+ 7.0

◇項目⑧：普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。

（「3時間以上」と回答した割合）

- ・児童 15.9%（三重県18.8%、全国17.0%） 全国比- 1.1
- ・生徒 13.9%（三重県24.0%、全国20.3%） 全国比- 6.4

◇項目⑨：普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。

（「2時間以上」と回答した割合）

- ・児童 5.7%（三重県9.9%、全国8.7%） 全国比- 3.0
- ・生徒 23.3%（三重県38.1%、全国32.7%） 全国比- 9.5

※参考

携帯電話やスマートフォンを持っていない児童・生徒

- ・児童 46.6%（三重県46.9%、全国46.3%） 全国比+0.3
- ・生徒 29.2%（三重県18.0%、全国23.5%） 全国比+5.7

◆テレビやビデオ・DVDの視聴は、全国と比較して児童・生徒ともに高い数値を示しています。しかし、テレビゲームに関しては、三重県や全国と比較しても少ない数値を示し、携帯電話やスマートフォンの使用についても、低い数値を示しています。また、これらについては、児童よりも、生徒の方が全国と比較して使用していない現状があります。

◇項目⑩：本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

（「月1回以上行く」と回答した割合）

- ・児童 31.8%（三重県42.1%、全国42.9%） 全国比- 11.1
- ・生徒 33.9%（三重県18.4%、全国18.9%） 全国比+ 15.0

【学校質問紙】

◇項目⑪：小学校は第6学年、中学校は第3学年の児童・生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか。

（「学期に数回程度行った」以上の回数を回答した割合）

- ・小学校 75.0%（三重県77.2%、全国80.5%） 全国比- 5.5
- ・中学校 33.3%（三重県39.5%、全国42.2%） 全国比- 8.9

◆読書活動のための学校図書館・室等の活用については、全国平均と比較すると児童では低く、生徒では高くなっています。読書活動には、どの学校も取り組み「朝の読書活動」を行っています。小学校で低い理由を追及し、読書活動に影響はないのかを把握していく必要があります。また、学校図書館・室を活用した授業については、今後どのように取り組むのか、各校で検討をしていかなければなりません。教育委員会としても、図書館司書の配置を進め、学校へ出かける時間の増加を図って行きたいと考えています。

(2)「みえの学力向上県民運動」の成果・取組指標に関連する項目

【児童・生徒質問紙】

◇項目①：難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童	75.0%	(三重県75.4%、全国75.1%)	全国比-	0.1
・生徒	66.1%	(三重県69.5%、全国68.0%)	全国比-	1.9

◇項目②：将来の夢や目標を持っていますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童	77.3%	(三重県85.8%、全国86.7%)	全国比-	9.4
・生徒	73.8%	(三重県71.6%、全国71.4%)	全国比+	2.4

◆「失敗を恐れず挑戦すること」には、児童・生徒とともにやや低い数値を示していますが、ほぼ全国平均並みです。「将来の夢や目標を持っているか」という問いには、児童は全国平均よりも9.4ポイントも低く、まだ夢とか将来とか考えていない児童が多いものと考えられます。生徒は、進路も目前に迫ってきているところから、夢や目標について考えることも多く、生徒の学力と関連して、全国よりもやや高い数値を示しているものと考えられます。

◇項目③：朝食を毎日食べていますか。

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

・児童	97.7%	(三重県95.7%、全国96.0%)	全国比+	1.7
・生徒	98.5%	(三重県93.3%、全国93.5%)	全国比+	2.4

◇項目④：毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

・児童	87.5%	(三重県78.3%、全国79.2%)	全国比+	8.3
・生徒	84.6%	(三重県75.0%、全国74.1%)	全国比+	10.5

◇項目⑤：毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 94.4%（三重県90.9%、全国90.9%） 全国比+ 3.5
- ・生徒 96.9%（三重県92.3%、全国92.1%） 全国比+ 4.8

◆「朝食を食べているか」「寝る時間・起きる時間」という、基本的な生活習慣については、児童・生徒とともに全国平均を上回り、健全な生活をしていることが伺えます。

◇項目⑥：家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 59.1%（三重県59.4%、全国61.0%） 全国比- 1.9
- ・生徒 56.9%（三重県47.3%、全国46.6%） 全国比+ 10.3

◇項目⑦：家で、学校の宿題をしていますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 100.0%（三重県97.3%、全国96.5%） 全国比+ 3.5
- ・生徒 93.9%（三重県87.7%、全国88.2%） 全国比+ 5.7

◇項目⑧：家で、学校の授業の予習をしていますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 38.7%（三重県42.0%、全国43.2%） 全国比- 4.5
- ・生徒 30.8%（三重県34.6%、全国34.2%） 全国比- 3.4

◇項目⑨：家で、学校の授業の復習をしていますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 46.6%（三重県48.7%、全国54.0%） 全国比- 7.4
- ・生徒 50.8%（三重県45.5%、全国50.4%） 全国比+ 0.4

◆家庭での学習について質問した一連の問いから、計画的に学習している割合は、生徒が全国平均に対して高い数値を示しています。児童から生徒に至るまで比較的計画的に学習を進めていると考えられます。学習内容については、宿題をやる児童は100%で、全員が宿題をすると答えているのは素晴らしいことと考えます。ただ、予習・復習については、児童・生徒ともに消極的であることが浮き彫りになっています。さらに進んで予習・復習ができれば、さらに学力も伸びるものと考えられます。家庭学習については、家庭と連携し家庭学習のあり方を検討して行かなくてはなりません。

(3) 三重県全体として特徴が見られた項目

◇項目①：学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

(「1時間以上」と回答した割合)

- ・児童 56.9% (三重県59.4%、全国62.0%) 全国比－ 5.1
- ・生徒 75.4% (三重県64.4%、全国67.9%) 全国比＋ 7.5

◇項目②：学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

(「3時間以上」と回答した割合)

- ・児童 9.1% (三重県9.9%、全国11.5%) 全国比－ 2.4
- ・生徒 9.2% (三重県12.6%、全国16.9%) 全国比－ 7.7

◆勉強時間は、平日では1時間以上している児童は少なく、逆に生徒は全国平均に比べて高く、4人に3人は1時間以上毎日勉強しています。休日の勉強については、児童生徒とも少なく9%ぐらいしか3時間以上勉強をしていません。2時間以上を見ても33.8%で全国の40.6%より7ポイント近く少なくなっています。特に児童はともに勉強時間が少なく、学習に対する意欲を醸成するような取り組みが必要となっています。

◇項目③：家の方は、授業参観や運動会などの学校行事にきますか。

(「よく来る」「時々来る」と回答した割合)

- ・児童 96.6% (三重県97.4%、全国96.5%) 全国比＋ 0.1
- ・生徒 97.0% (三重県78.8%、全国83.1%) 全国比＋13.9

◆児童は、大台町、三重県、全国とも同じような数値を示し、保護者の関心が高いことを示しています。生徒については、本町の保護者の関心は高く、児童よりも高い数値を示し、さらに全国と比較しても、高い数値を示しています。保護者との連携を大切にする教育の推進が大きく影響しているものと思われます。今後も、家庭・地域と連携した取り組みを推進していかなければなりません。

◇項目④：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 95.5% (三重県96.3%、全国96.4%) 全国比－ 0.9
- ・生徒 95.4% (三重県92.8%、全国93.4%) 全国比＋ 2.0

◆本町の児童・生徒のいけないと思う割合は、ほぼ同じ数値を示しています。また、全国と比較しても大きな差はありません。しかし、どんな理由があろうともいじめはいけないことだという答える児童・生徒を100%にしていかなければなりません。今後も、人権教育等に取り組み、心の豊かな児童・生徒の育成に努めて参ります。

◇項目⑤：「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことなどを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 59.1% (三重県53.3%、全国63.8%) 全国比－ 4.7
- ・生徒 58.4% (三重県46.2%、全国54.8%) 全国比＋ 3.6

◆本町では、小中学校とも児童・生徒が課題設定し、情報収集からまとめ、発表という活動を比較的多く取り入れています。考える力や自ら取り組む積極性を養う上で、効果を発揮する取り組みです。各校とも、「総合的な学習の時間」のあり方をもう一度見直し、児童・生徒の活動を重視したものになっているか見直していきたいと思います。

◇項目⑥：国語の授業で目的に応じて読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 60.2% (三重県56.6%、全国61.4%) 全国比－ 1.2
- ・生徒 69.2% (三重県53.2%、全国56.1%) 全国比＋ 13.1

◆どちらかと言えば小学校の方が多く行われているのかと思っていましたが、児童の回答では、全国よりわずかですが数値が低くなっています。中学校では、逆に全国平均を大きく上回り、自分の考えを話したり、書いたりする取り組みを行っています。自分の考えを持つこと、考えをまとめる活動は大切です。国語教育の中で、どのような取り組みをしていかなければならないかを、学力向上推進委員会等で検討していきたいと思います。

3 大台町におけるこれまでの取り組みと成果と課題

【取り組み】

- 学力向上推進委員会における、C R T（学力標準検査）の分析結果や学力向上の取り組みの交流。
- 多気郡学力向上推進会議における講師を招聘しての講演会の開催と実践交流。
- 多気郡指導室指導主事による学校訪問と授業研究・事後検討会における指導・助言。
- 大台町教育委員会によるI C T研修（電子黒板活用等）の実施。

【成果と課題】

- 小学校は全ての教科、中学校は国語B以外で正答率が前年度より向上しており、小中学校ともに国語Aと算数・数学Aは正答率70%を上回っています。
- 小中学校ともに全ての教科で全国比が前年度より向上しており、特に小学校算数Aと中学校全教科で、全国比が100を超えています。
- 無回答率が前年度に比べて低くなっています。（小8. 1→5. 5%、中学校9. 2→4. 7%）。特に、中学校は全国比よりも0. 8ポイント低くなっています。
- ◆小学校において、全国学力・学習状況調査を、教育活動改善のために活用できていない学校があります。

4 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

【取り組み】

- 学力向上推進委員会において、全国学力・学習状況調査の分析結果や学力向上の取り組みの交流を継続します。
- 特に小学校において、全国学力・学習状況調査を教育活動改善のために活用するよう指導します。
- 「目標を示す」「振り返り活動を行う」ことを重視した授業づくりを進めます。
- 各学年段階で、学習指導要領に基づいた学力が育成できているかを検証する手立ての見直しを行い、より有効なものにしていきます。